

リーダーがフォロワー（消極的な指示待ち人間）を再生産する。リーダー不要論を背景に登場した「インターメディエーター」。さまざまな次元で異なる領域や言語を媒介し、カオスと協働の場から、新たな需要、関係変化、先端表現を創りだす存在です。鳥居坂・国際文化会館にて、第7回フォーラムを開催します。

2023. 10. 29 [日]

空にするほど充たされる——。

# Intermediator Forum 2023

## Welcome to Intermediator Forum—— ここで行われているのは、ビジネスの先端表現／先端研究である。

●インターメディアエーターは、まだまだ媒介し足りない。従来の図書分類などに囚われず、もっとどんどん既成の境界を超えてリソースを媒介していったほうがいい。例えば、ここには生命・社会領域のインターメディアエーターが参加しているが、未来のケアは、福祉だけにとどまらず、文化芸術とも、食とも、観光とも、スポーツとも、その他のX（未知の領域）とも媒介することで成立する。地域福祉で担い手不足が言われているが、そうした採用問題も、地域づくりも、すべて「人間とケア」という、より大きなコンテキストの中で行っていく。ケアというのは、いわばスロープのようなもので、足の悪い方にも、そうでない方にも有用だ。だから、そもそもケア意識の高い地域社会をつくることは、いわゆる福祉サービスの利用者以外にも価値ある地域になる。ケア意識という視点の欠けたこれまでの地域づくりは、文字通りケアレス（うかつ）だった。

●さて、このような、よりよい地域・社会を創ろうとする動きは、以前に増して各地で見られるようになってきた。では、こうしたコミットメントや努力の結果、ついに理想社会を創ったとしよう。そのあと、人間はどうなるのか。『法の世界』を著す二十七年ほど前、モンテスキューはこう述べた。辛辣な内容だ：

1) 刻苦して理想社会を創りあげ、2) 幸福と繁栄がもたらされると、3) やがて人々は、その幸福・繁栄を、ごく当り前のものと感じるようになった。4) そして自ら考え、自分たちの生活を美しく、善くする努力を払うのが面倒だ、と思うようになった。5) それよりも誰か王様のような人から命令されて動くほうが、はるかに楽だと思えるようになる。つまり、苦心のあげく理想社会を築いた結果、かえって数多くの従属的な人間が世を覆っていく、とのパラドクスである。


●しかし、この洞見によって、かえって次のことが明らかになった：

人間には、どうやら被支配を好む性質がプログラムされている。だからこそ、人はいかなるときであれ、より真なるもの、より善きもの、より美しいものを求める心を忘れず、自らその追究、実現に向かっていくことに価値がある、と。人々の中から、その自発性と自律性を引き出すこと。これが empowering と呼ばれる“ひとづくり”の要であった。

●では、善きもの／美しいものとはなんだろうか。それは結合／協働であり、人間と人間、人間と機械、人間と機械と自然を結びつける協働力を指す。職場、地域、世界、人生など、カオスの中から、“開かれた協働の場”を生みだすために、インターメディアエーターは「リーダー不要論」を踏まえ、次の能力を養う：

①3分法思考と多元的思考、②複雑性・多様性許容と対話能力、③エンパシーとエンゲイジメント能力、④エンパワリング能力、⑤物語り能力。

●この世界の困難は、精神と自然を切り離す思考システムに依拠しすぎたことによって発生している。そこでインターメディアエーターたちは、社会や生態系に関与していきながら、「人間と機械と自然の協働」を目指す新しい学（post-disciplinarity）を身につけようとする。当日は、インターメディアエーターの知と方法、そして実際の活動と経験の紹介にできるだけ時間を割き、ご来場の皆さんと懇談の時間を設けることにしたい。

設楽 剛 (Tsuyoshi Shidara, Ph.D.)  プロフィール  
設楽剛事務所 代表、慶應義塾大学 博士 [政策・メディア]

## Program

2023. 10. 29

13:15 開場

13:25 オープニング

13:30 - 14:10 VisionTalk


「あいだ」をめぐる美しい逆説


■ 設楽 剛 (polyphonizer)


14:20 - 15:15 Crosstalk

インターメディエーターは不可能(そう)なことだけにコミットする  
—すべてはリーダー不要論から—

■ イニシアチブ1 竹内 祐介  (re-programmer)

■ イニシアチブ2 木村 智子  (re-gardener)

■ イニシアチブ3 鈴木 悠平  (re-writer)

■ イニシアチブ4 今津 新之助  (re-opener)

■ group dialogue

15:25 - 16:20 Craftwork

■ lecture 「Vision-framing による universal defense」

■ solo work

■ group dialogue

16:30 - 17:00 Dialogue & Polyphony

参加者(会場・リモート)を交えた

全体対話 とまとめ(多声的に)

17:10 - 18:10 Symposium (対話と懇親の場)

# Intermediator Forum 2023